

第42回 市政e-モニターアンケート 「2020年に向けた鎌倉市の観光について」

【テーマ】 2020年に向けた鎌倉市の観光について

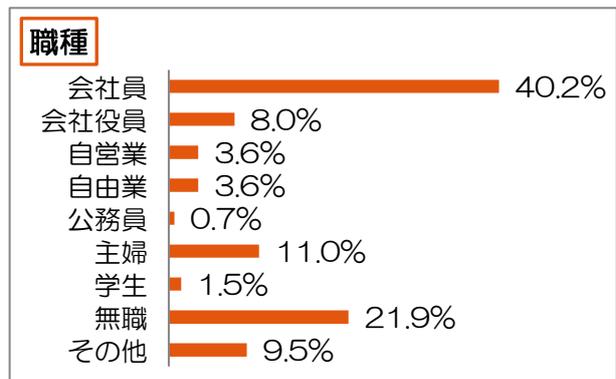
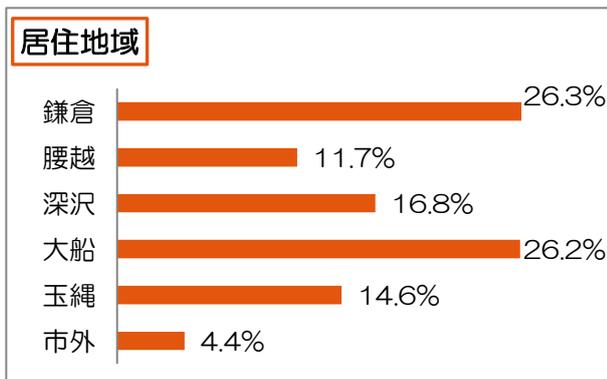
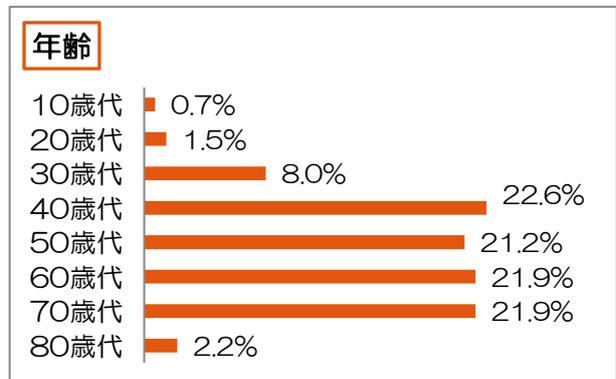
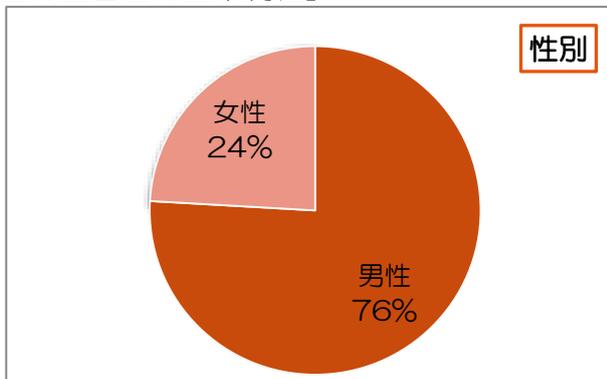
【目的】 2020年の7月24日～8月9日にオリンピックが、8月25日～9月6日にパラリンピックが開催されます。開催中には、多くの外国人観光客の来訪が予想されます。

また、オリンピックでのセーリング競技が江の島で開催されることになり、2020年はもとより、2019年もオリンピックに向けた対策として、花火大会の開催が今年までと同じ日程での開催が難しい状況が想定されます。そのため、実施時期をずらして漁業に影響を及ぼさない日程での開催を目指しています。

そのため、皆さまのご意見を伺い、今後の課題解決の参考にすることを目的とします。

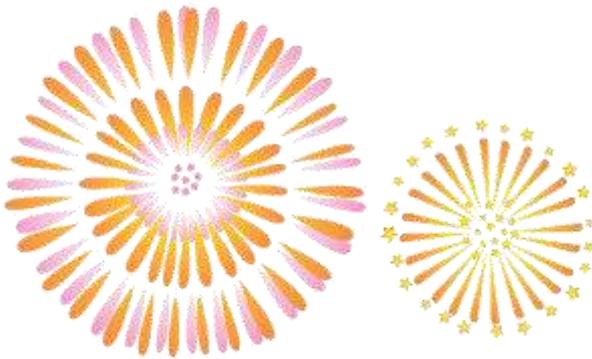
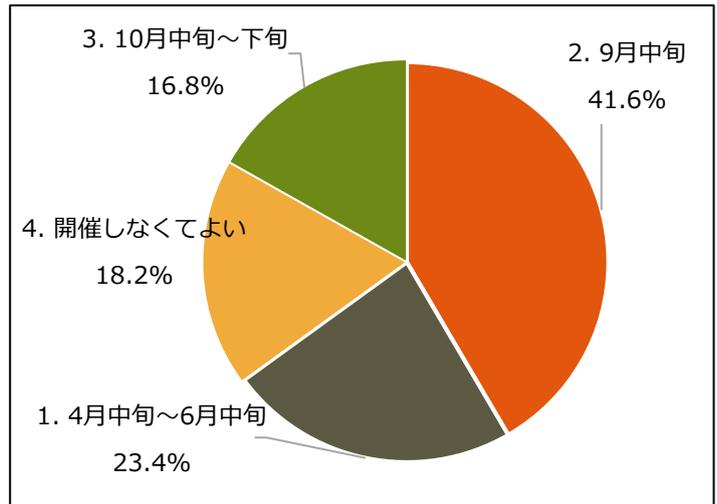
- ◆ アンケート送信日 : 平成30年6月6日（水曜日）
- ◆ 実施期間 : 平成30年6月6日（水曜日）～6月20日（水曜日）
- ◆ 送信者数 : 456名（着信者数 421名）
- ◆ 回答者数 : 137名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 32.5%（前回より -2.1ポイント）

【今回の回答者の基本属性】



【質問1】(必須) 花火大会を、最も開催して欲しいと思う日程を選択してください。なお、8月はエビ網漁、9月下旬～10月15日はボラ網漁設置実施、11月10日～3月末は養殖わかめ筏設置、4月上旬は天然わかめ漁のため、開催は検討していません。

1. 4月中旬～6月中旬	32名
2. 9月中旬	57名
3. 10月中旬～下旬	23名
4. 開催しなくてよい	25名
合計	137名

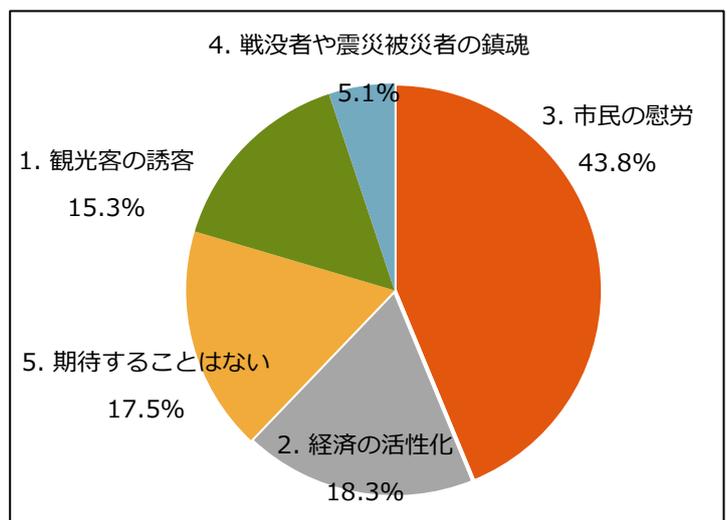


【観光課より】

半数弱の方が、9月中旬の開催を望んでいることがわかりました。従来と異なる時期に実施することにより、従来とは異なる事情、状況が出てくることが想定されますが、例年の主催者である（公社）鎌倉市観光協会とこの結果を共有し、参考に致します。

【質問2】(必須) 花火大会に期待することはありますか？

1. 観光客の誘客	21名
2. 経済の活性化	25名
3. 市民の慰労	60名
4. 戦没者や震災被災者の鎮魂	7名
5. 期待することはない	24名
合計	137名

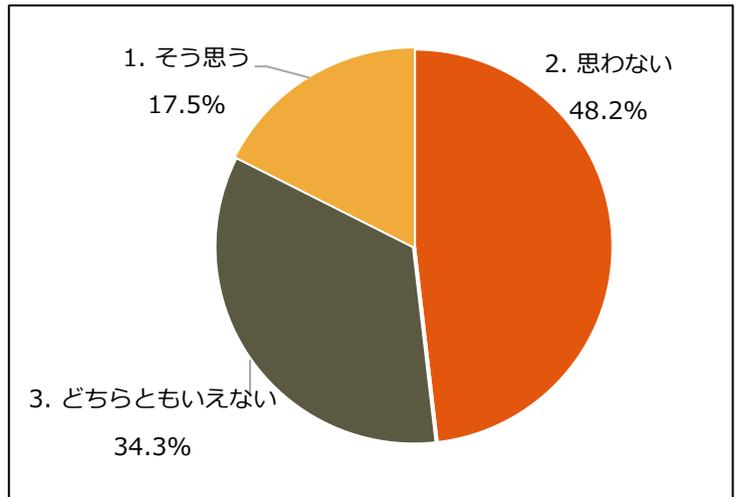


【観光課より】

半数弱の方が、市民の慰労としての花火大会を望んでいることがわかりました。市民の方が花火大会をお楽しみいただけるような施策について、鎌倉市観光協会ともアイデアを出し合い、多くの市民の方に楽しみにしていただける花火大会を目指し取り組んで参ります。

【質問3】（必須）鎌倉市は外国人観光客が観光しやすいまちになっていると思いますか？

1. そう思う	24 名
2. 思わない	66 名
3. どちらともいえない	47 名
合計	137 名



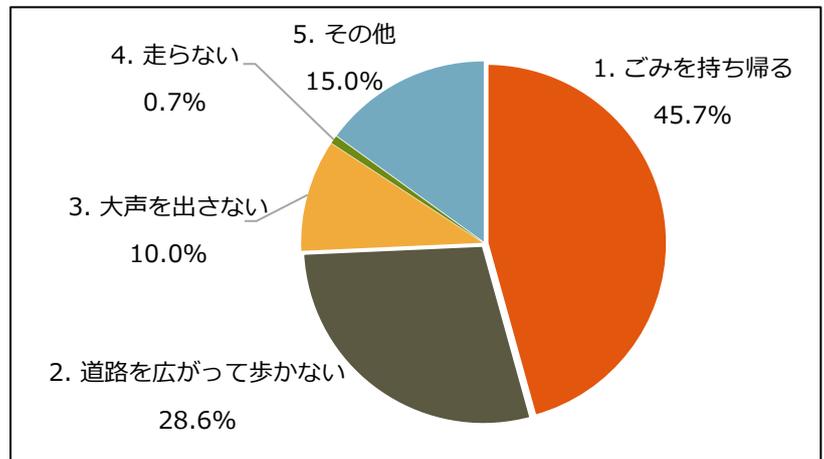
【観光課より】

市では観光案内板の多言語化や、外国人向けの観光案内図の作成、Wi-Fi 環境の整備など、外国人観光客の受け入れ環境整備に取り組んでいますが、まだ多くの市民は外国人にとって観光しやすい町と感じていないことが分かりました。

平成 30 年度には外国人観光客の方への聞き取りなどによる調査を通じて、動向調査を行う予定としています。その結果を踏まえ、より良い受入環境の整備に取り組んで参ります。

【質問 4】（必須）外国人観光客のマナーで特に呼びかけが必要と思われるものは何ですか？

1. ごみを持ち帰る	64 名
2. 道路を広がって歩かない	40 名
3. 大声を出さない	14 名
4. 走らない	1 名
5. その他（自由記述）	21 名
合計	140 名



【その他のご意見】

- 自転車の乗り方(交通ルール)。
- 禁煙区域のアピールが足りないから、海外旅行者だけでなくすべての人にもっと分かりやすく。
- 歩きタバコもやめて欲しい。←地元の方に多い。
- 勝手に民家等に立ち入れない。草木を摘み取らない。
- 落書きをしない。
- ゴミ、タバコを路上に捨てない。
- トイレをちゃんと流す。トイレの汚物入れに拭いた紙を捨てない。
- 公衆トイレの使い方。
- 交通の流れを読んで行動する。
- 普通と思われる鎌倉マナーを守って頂きたい。
- 外国人用地図に鎌倉マナーとトイレを明記したものを配布して欲しい。
- 建物にイタズラをしない。
- 「郷に入れば郷に従え」権利意識を強く持つことなく、つつましい行動をしてほしい。
- 電車の優先座席の意味を分かりやすくしてほしい。
- 地元の文化や仕来りを理解し、一般的なサービスを求めすぎないでほしい。

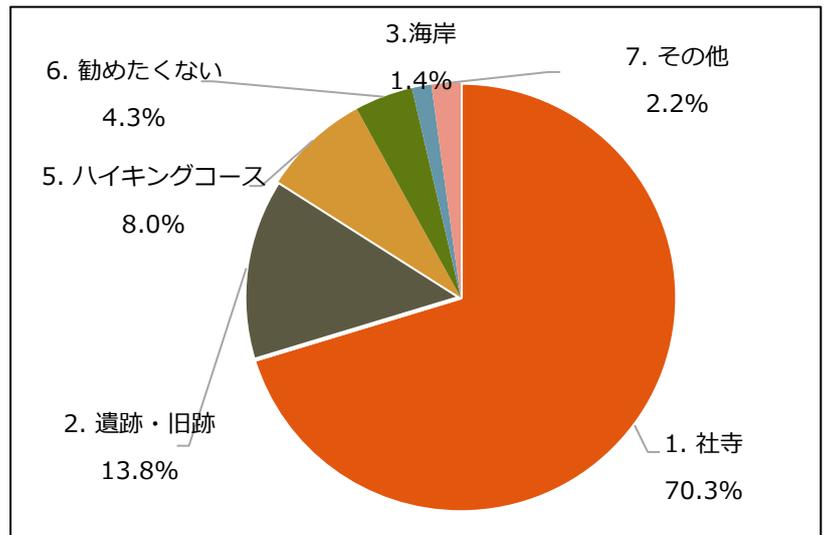
- 外国人観光客に、と云うより観光客全般と鎌倉のお店にマナーが必要では。食べ歩きと言えば聞こえが良いが、瓶ビールをラッパ飲みしながらとか、テイクアウトした食品を食べながら歩くのは狭い小町通りではすぐわない気がします。
- 外国人よりも日本人観光客の方が問題が多いと思う。海外からの観光客はマナー違反というよりも国民性の相違が問題になると思う。
- 外国の方より日本人の方がマナーが悪い。
- 外国人だけではないと思いますが、タバコのポイ捨ては危険なので、絶対に止めてほしいです。
- 喫煙。
- 今のところなし。
- 呼びかけなければならぬような悪いことを見たことがない。
- マナーが悪いとは思えません。
- マナーは悪くないと思います。
- 特にない。観光客で潤うのは、商売、だから税金ちゃんと取ってるの、道路狭いし規制すべき。
- 特にありません（あえていうなら長すぎる自撮棒）。鎌倉市民が外国の歴史的名所に観光に行った場合も、だいたいあんなものでしょう。
- 特に問題は無いと思いますが？

【観光課より】

ゴミの持ち帰り、道路を広がって歩く行為に対する呼びかけのニーズが高いことがわかりました。市では今も情報誌やホームページなどの媒体を通じてマナー周知に努めておりますが、引き続き周知に努めるとともに、より効果的な媒体の検討を進めて参ります。

【質問5】（必須）外国人観光客に1つだけ観光地を勧めるとしたらどの観光地を勧めますか？

1. 社寺	97 名
2. 遺跡・旧跡	19 名
3. 海岸	2 名
4. 公園	0 名
5. ハイキングコース	11 名
6. 勧めたくない	6 名
7. その他（自由記述）	3 名
合計	138 名



【その他のご意見】

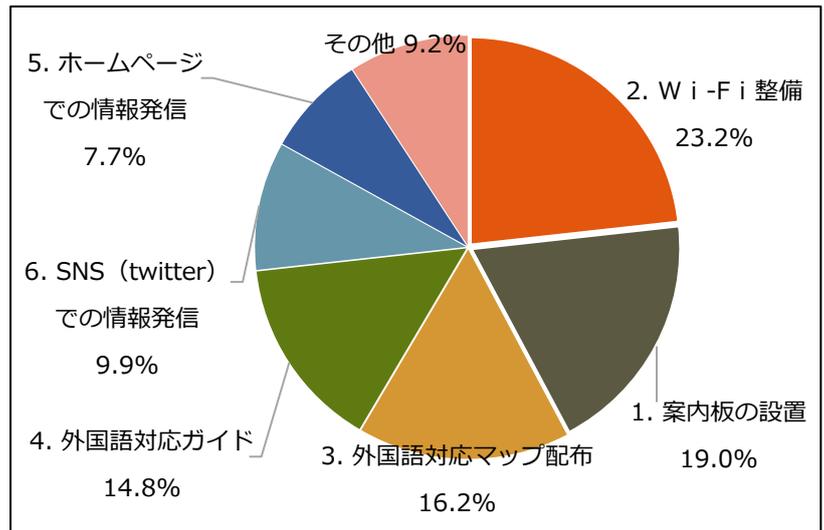
- お祭りやイベント。
- 料亭やレストランなど。
- アジアからか、欧州からか、欧米からか、また、如何なる国からか、によると思う。質問の内容が「大雑把」すぎる。

【観光課より】

多くの市民が、外国人観光客に勧めたい鎌倉の観光地として、社寺を考えていることがわかりました。鎌倉には多くの社寺があり、その中には比較的に観光客に知られていないながらも素晴らしいものが沢山あります。そういった社寺の魅力を外国人観光客に伝え、混雑を避けて鎌倉の魅力を感じていただけるようにしたいと考えています。

【質問 6】（必須）外国人観光客向けの施策として最も必要だと感じるものはどれですか？

1. 案内板の設置	27 名
2. Wi-Fi 整備	33 名
3. 外国語対応マップ配布	23 名
4. 外国語対応ガイド	21 名
5. ホームページでの情報発信	11 名
6. SNS (twitter) での情報発信	14 名
7. その他 (自由記述)	13 名
合計	142 名



【その他のご意見】

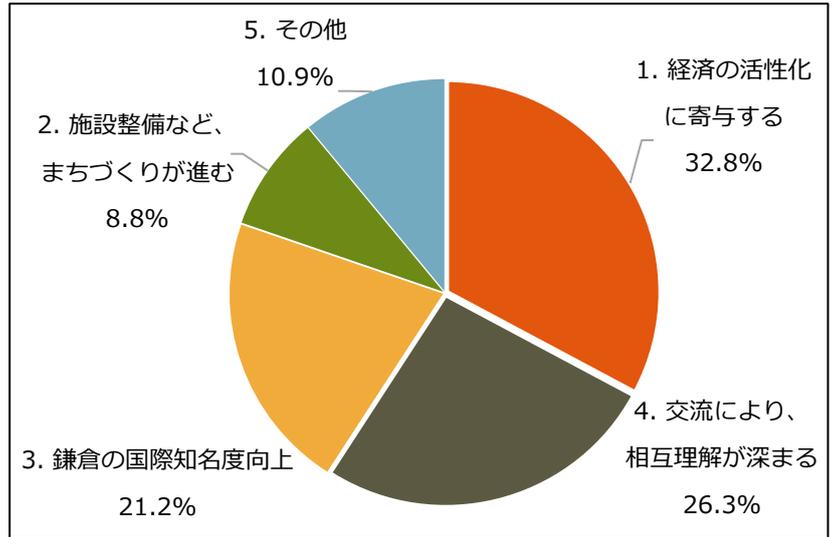
- 受け入れる心構え。
- 古都鎌倉、世界遺産登録を目指す町として基本となる公衆トイレの整備、設置、市内各所の整備等が必要と思います。
- ボランティアガイドによる案内。
- 各国語でその場所に付いたらガイドされるシステムが有ればいいですね。出来れば指向別コースや時間別コースなどもきめ細やかなサービス。
- 外国語対応マップを携帯アプリでダウンロード、今いる観光地がマップ上でわかり、寺社、史跡等の解説を読めるようにする。
- Wi-Fi の整備。利用しやすい Wi-Fi を整備すれば、おのずと案内や多言語対応も進むと考えます。
- 市民の大多数が、せめて中学生レベルの簡単な英語くらい話せるように自助努力する。大丈夫、恥ずかしがるな、外国人観光客の過半数は英語ネイティブではない。
- 鎌倉市にとって現在で受け入れ体制は限界だと思います。これ以上増やす施策は必要ありません。一市民として観光客の増加は大迷惑です。かつての寺社を中心とした静かな環境を取り戻したい。
- 外国人向けの案内を充実させればさせる程、日本人向けの案内が簡素になったり見にくくなったり影響を受けているので、これ以上は必要ないのでは？
- 駅前の観光協会、駅の交番が夜に閉まっているのが気になる。交番が無人なので困っている外国人観光客を私が助けた。
- 郷に入って郷にしたがえ。
- 洋式トイレ。

【観光課より】

外国人観光客向けの施策には、多様なニーズがあることがわかりました。実際に外国人観光客の方が、日本を観光する際にどのようなことに困っていて、鎌倉に何が不足しているのか、外国人観光客の実態調査の結果を踏まえて、効果的な施策を行って参ります。

【質問 7】（必須）外国人観光客が来ることでの鎌倉市のメリットは何だと思えますか？

1. 経済の活性化に寄与する	45 名
2. 施設整備など、まちづくりが進む	12 名
3. 鎌倉の国際知名度向上	29 名
4. 交流により、相互理解が深まる	36 名
5. その他（自由記述）	15 名
合計	137 名



【その他のご意見】

※同様のご意見は集約しています。

- 市民、特に子ども達が国際感覚を持てること。
- 地域組織の活性化、子どもの国際意識の高揚、等。
- ゆっくり進む時間が持てる。
- 邦人観光客と異なるような当地側のメリットはないと思う。彼らが得て帰るものも、もはや山ノ内にしかない。
- 鎌倉市にとって現在で受け入れ体制は限界だと思えます。これ以上増やす施策は必要ありません。一市民として観光客の増加は大迷惑です。かつての寺社を中心とした静かな環境を取り戻したい。
- 道路が狭い。歩道が狭い。黙っていても外国人は増える。増えてもメリットなし。
- 迎える準備が出来ていないと案ずる。従って、メリットは「発生しない」。
- メリットがあるとは思えない。
- 道路が混雑するばかりで特段のメリットを感じない。
- 経済の活性化に寄与する。施設整備など、まちづくりが進む。鎌倉の国際知名度向上。交流により、相互理解が深まる。
- 必要以上に誘致することはない。
- あまりない。
- 特になし。
- ない。

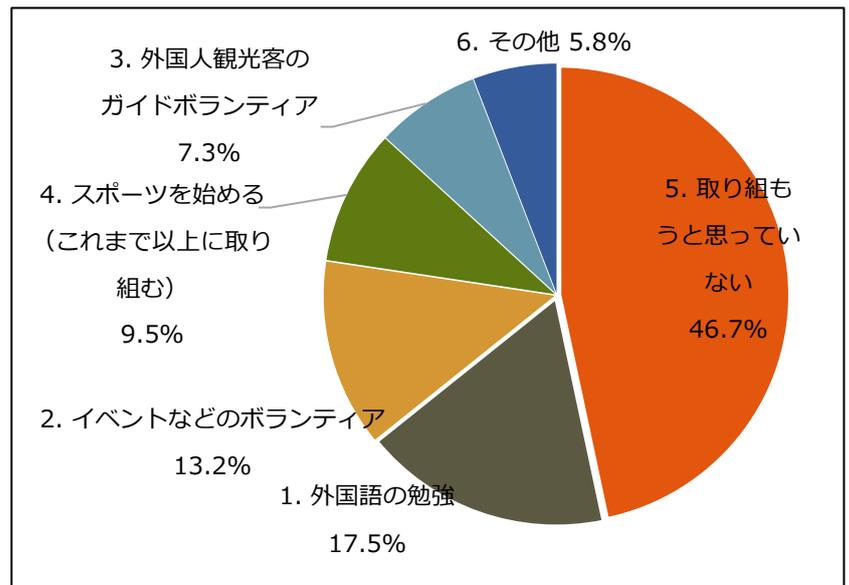
【観光課より】

外国人観光客の増加に対し、経済の活性化、交流による相互理解、国際知名度の向上といったメリットがあると捉えている市民の方が多いことがわかりました。

今まで、市では積極的な外国人へのプロモーションを行ってきおらず、鎌倉の知名度も海外調査会社によると、欧米豪の訪日観光客の中で9%程度と非常に低いものでした。しかしながら、知名度が低い反面、鎌倉を知らない外国人の方に対し鎌倉の魅力の伝え方を工夫すれば、現在観光客が集中しがちな区域を避けた新たなルートに導くことができる可能性があります。実態調査を踏まえ、発信方法等検討して参ります。

【質問 8】 (必須) 2020 年に向けて、ご自身が新たに取り組みようと思っていることはありますか？

1. 外国語の勉強	24 名
2. イベントなどのボランティア	18 名
3. 外国人観光客のガイドボランティア	10 名
4. スポーツを始める (これまで以上に取り組む)	13 名
5. 取り組みようと思っていない	64 名
6. その他 (自由記述)	8 名
合計	137 名



【その他のご意見】

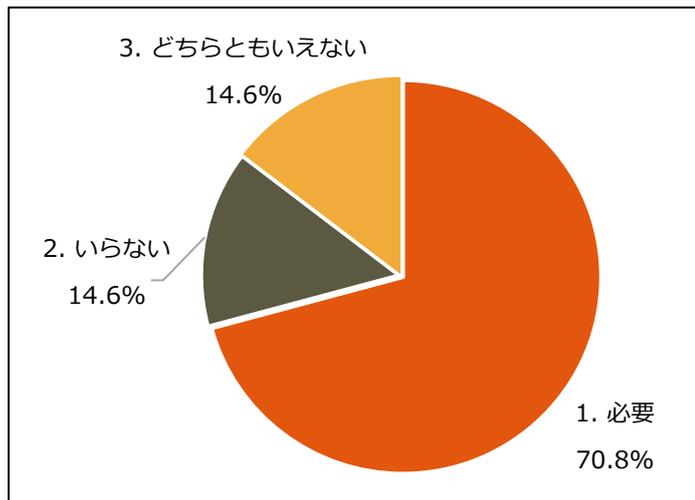
- 鎌倉のあらゆる分野で質的向上に貢献する。特にまちの美観。
- 何かお役に立てるものと考えてますが、現在無。見つからなければ、道路清掃を今まで通り続ける。
- 鎌倉の歴史の知識習得。
- 社会の生産年齢層の一員として自分がやるべきことを確実に遂行していく所存。
- まちづくり活動。
- 助けを必要な外国人には積極的に声をかける。
- 観光名所の近くに住んでるので引越しをするか？日にちによっては鎌倉から離れるようにしたいです。
- 特にない。

【観光課より】

外国語の勉強や、イベント、ガイドでのボランティア活動など、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みを志している方が 4 割ほどいらっしゃる事がわかりました。こうした市民の皆様のお気持ちを支援できるよう、東京オリンピック・パラリンピック担当との連携を検討して参ります。

【質問 9】 (必須) 観光マナーを呼びかけるような規制は必要だと思いますか？

1. 必要	97 名
2. いらぬ	20 名
3. どちらともいえない	20 名
合計	137 名



【観光課より】

観光マナーを呼びかける規制についてのニーズが高いことがわかりました。観光課では、ハイキングコースでのマナーを定める条例の検討を進めてまいりましたが、これをハイキングコースに限らず、市内全域での観光に係るマナー条例として範囲を広げること検討して参ります。

【質問 10】 (必須) その他、2020年に向けた鎌倉市の観光についてご意見やご提案がありましたらお願いします。

※同様のご意見は集約しています。

【観光都市鎌倉のあり方】

- 鎌倉は観光客は多いが、地域市財政に対する、貢献は小さすぎる。住民にはかなりの負担である。市にメリットのある施策を考えるべき。寺社には観光客はかなりのメリットがあると思うが、税金はかかっておらず、市への貢献を検討すべき時が来ています。
- 現状では観光客の恩恵を受けているのは、本社が県外にあるような、人の禪で儲けてる、鎌倉由来ではない全く関係ない店ばかり。特に小町通り。地元の商店やお店のためにも、そういった鎌倉で商売しながら消費税を納めない県外企業から別途税収を取るようなシステムを考えたらどうでしょう。また歴史ある観光地なのだから、あまり 2020 年ばかりに踊らされないで地に足付けた施策をやって欲しい。便乗した自然破壊、開拓はやめて。
- 鎌倉の何を推していくのかが見えない。武家の街と言っても〇〇がここに在ったとの看板があるだけ。来て観て感じるような施設が必要と思います。
- 体の不自由な方、妊婦や子連れがいかに快適にすごせるかは重要な宣伝材料になると思う。これは海外では当たり前でも、日本では劣っている点があるため、これが日本の古都鎌倉で経験できるのは、鎌倉の宣伝及び日本の良さに繋がり、sns の発信に期待もできる。
- 鎌倉市は観光地であり、住所地です。街は狭く、観光施設も小さいです。自然と文化財を守るために、観光マナーとルールを作り、国内と外国人に宣言することが必要だと思います。
- 鎌倉市の都市としてのあり方が明確で無い。観光都市を目指すなら、宿泊施設や食事処等が不十分である。
- 鎌倉をもっと観光としての観点から魅力あるものとする事です。現状全く足りません。
- 海外を広く見た場合、タバコ喫煙率が高い国もある。わざわざ鎌倉に来てくれた外国人観光客にゴミを持ち帰れというのも、おもてなしの気持ちに欠けている。花火大会も去年もダメだと思っていても何とかできたことに素晴らしい価値があった。2020 年も無理だと諦めずに、何とかして海外のかたに楽しんでいただけるようにするのがおもてなしである。一連のアンケートを見ていると、観光客を迷惑だが大事な金づるのように扱っていて、失礼だと思う。おもてなしの気持ちを持ちましょう。
- 観光バスの駐車場も少ないのに、今でもオーバーブッキング状態、更に呼び込む必要性はないと思う。経済が活性化するとは言っても、外国人は鎌倉ではお金は使わない。交通の整備も、ホテルも、ない状況で、必要以上に誘致する必要はないと思う。現在でも、観光バスが、人通りの少ない道路に駐車して、駐車場を借りないで観光客を待つ光景を何度も見ているが、住民は迷惑しているし、いずれ事故が起きる可能性が大きい。
- 市の財政に寄与できるような方策が必要、例えば社寺入山料への課税など。
- 中心部（旧市街地とその周辺）に休息の場所（広域緑化公園と木陰）が無い。狭道の街並みが多い旧市街地を「売り」にするなら、その近隣に広域公園を作るべし。
- このアンケートを含め、長期的展望が乏しく、甚だ残念である。高々（2020 年までの）2年で「変化」を求める事自体が「薄っぺらい」。
- 鎌倉市にとって現在で受け入れ体制は限界だと思います。これ以上増やす施策は必要ありません。一市民として観光客の増加は大迷惑です。かつての寺社を中心とした静かな環境を取り戻したい。

- 市民の生活に支障が無いような施策をお願いします。都市化が激しく美観が乱れてます、他の原風景を残した街を手本にして行政指導を強めて欲しい。
- 健康とコラボした町づくり、神奈川県のみならず、未病を取り入れていくことで、観光と健康を融合させるべき。
- 行政の方向性を明確にし、住民の声を元に小さい事から皆を巻き込んでいける事を行う事が重要と感じます。
- ビルなどの建築の規制、山野・緑地の開発の抑制、また、若宮大路などの高層建築を取り壊し、空を広くすることにより、往時を偲ばせる「原風景」を回復する。せめて山ノ内・腰越・二階堂といった歴史的周縁地域には10m以上の建物・コンクリート造りの建物は禁止するくらいが必要。今の状態では、世界遺産登録はおろか、観光客も失う。三大がっかりへの道を突き進むのはやめる。
- 「クリーン鎌倉」を全面的にPRする。
- 小学生の地域学習プログラムに観光の視点を導入することで、来外者に対するホスピタリティの実践と同時に（地域の大人との）「信頼感」や「地域プライド」を持てるようにしたいものです。
- 案内板設置、マナー喚起の立て看板などは、観光資産・景観を損なう低質デザインが日本には散乱している。歴史的遺産、景観の価値を認識の上で取り組んでほしい。海外の良質な観光地環境を参考にされることをお勧めする。

【道路と渋滞・インフラ整備】

- 鶴岡八幡宮がある鎌倉観光の中心地は道路が狭く、渋滞がひどいため居住者と営業車など特定の車両以外の進入規制も必要だと思う。ただし、それをするためにはバイパスのような幅広道路を周辺に整備することも検討した方が良いでしょう。
- 八幡宮から北鎌倉駅の歩道が狭すぎて、とても外国人観光客を呼べるような町ではない。歩行者の安全上からも限界を超えており、私有地の買収も含めて、抜本的な対策を講ずる必要があると考えます。
- 道路の混雑緩和の施策をしてほしいです。ロードプライシングや手形の発行などをすすめて、地元民が車で出入りしやすくなれば。
- 交通渋滞を緩和して欲しい。また、ロードプライシングや観光地での拝観料、入場料を京都や外国のようにしっかりとって市民に還元して欲しい。そうしないと鎌倉市民であることになんのメリットもないと思う。
- 交通状況の改善。土日祭日等の車の市内乗り入れ制限。市民も車の使用自主規制公共の交通機関の利用（例価格の料金設定）。
- 狭すぎる歩道を広げることができるなら、観光客のリピーターや新規住民の獲得になり、安全な鎌倉として観光を含めたアピールになりますね。
- 134号線の歩道の設置。民家に立ち入らない。
- 鎌倉市の観光がしやすいよう、主要観光地における公共交通機関の充実とマイカーの規制を進めて欲しい。有名観光地は自動車で混雑していると、地元市民が事故に巻き込まれる可能性があるため、危険の芽を事前に摘むためにもぜひとも検討をして欲しい。
- 会場周辺を中心とした公共交通の整備。
- 土休日は正月3が日のように車両の通行規制を実施してほしい。市内中心部の車両はバスやタクシー、人力車、自転車のみにしてほしい。（国道134号線を除く）
- 自家用車の全面的な流入制限は現実的ではないため、通行禁止区分を増やし、生活道路に他府県ナンバーが入れないようにする。
- 車両規制の実施。
- 大船地域のPR。江ノ電緩和、湘南モノレールへ使った迂回PR。
- 交通渋滞が心配。五輪期間中だけでも制限できないか。
- 大仏前の歩道を拡幅する。
- 道路事情が非常に悪いため、観光客が増加すると危険も増します。道路の自動車利用をどのように制限するか、等を再度きっちりと検討すべきだと思います。
- 混雑緩和策を講じてほしい。
- 羽田空港、成田空港、新横浜駅からのアクセス利便性の向上（JRの代替輸送手段）や県道312号線（藤沢市川名から先）の建設を藤沢市と共同で推進するべきだと思います。
- 自動車乗り入れ規制やJRと電線の地下埋設。
- 遊歩道、自転車道の整備。私は自動車に乗る立場ですが、鎌倉は正直人に優しくありません。あと、市外からの住民に対する車流入り制限。もうこれは徹底的にするしかない。市外からの観光目的の車は全く入れないくらいの施策が欲しい。
- 市内で生活する上で、支障が大きすぎる。
- インフラの整備が重要かと思えます。宿泊施設の充実・歩道の整備・渋滞の緩和施策・主要駅と駅周辺の動線に見合った見直しと整備・隧道やトンネルの定期的点検と補修など。
- 旧鎌倉地域に過度に依存した観光政策でなく、JR大船駅を起点とした湘南モノレール沿線、深沢地域及び玉縄地域にフォーカスして観光活性化及び経済活性化策を深度化させる必要があると認識している。具体的には鎌倉フリー環境手形の適用区間を湘南モノレール大船駅～西鎌倉駅の付与並びに江ノ電区間を腰越駅まで延長、ならびに大船駅西口からの神奈中バスの鎌倉市内区間内を組み込むなど、狭い範囲でなく各地域の魅力に触れられるような改善策に取り組むこと。
- 江ノ電バスに系統番号がないため外国人観光客がスムーズに利用できない事例があると聞いている。国交省でバス系統番号に関するガイドライン策定の動きがあるようだが、鎌倉市でも事業者任せにせず、これに合わせて市内バス事業者にも外国人観光客もわかりやすく使いやすい系統番号付与を目指してバス交通維持活性化予算を組むなどの活性化を図ること。
- 旧鎌倉地域の主要バス事業者（京浜急行バス、江ノ電バス）の連携がとれておらず停留所標識が別々に設置されているなど、他の観光都市と比較してもバス利便性は著しく低く、立ち遅れているレベルにあると認識している。バス事業者任せにせず市が音頭を取ってバス停留所を一本化し、行先案内も共通化、わかりやすくするなどバス交通活性化について具体的に改善を図ること。

- 市内観光バスの路上での乗降扱いによる停車が渋滞に拍車をかけていると聞いている。大船地区、深沢地区に観光バス用大型駐車場を確保し、観光客には上記で提案した鎌倉フリー環境手形を協力金を差し引く形で販売して観光客には公共交通による移動を促すことで渋滞緩和に努めること。
- 道路がどこも狭いので曜日により車の進入規制が必要だと思う。
- 鎌倉の最大の弱点は道路の渋滞です。 国道134号線の拡幅を実現してほしい。江の島から逗葉新道まで現在2車線を4車線にしてほしいと思っています。実現したら飛躍的に改善します。国に強く要望すべきです。
- 2020年には、今以上に、観光客が増加するものと推察される。特に、「車」での観光は、止めてもらう姿勢を強く打ち出すべきである。鎌倉の観光は、昔から「歩く鎌倉」である。
- 事故防止と渋滞回避、観光バスは朝比奈峠を通らないよう周知、逗子インターを利用するよう呼びかける。
- 郊外の駐車場に車をおいて市内観光は二次交通を利用する交通システムの構築。

【まちづくり】

- 街並みと設備の整備→歩道拡張、公衆トイレ整備、段葛の海岸までの復元、生垣及び木造建築への補助。
- 世界に誇れる景勝地として、路上喫煙禁止区域を全市に拡大し、吸い殻のポイ捨てを徹底的に無くして欲しい。そのための来訪者にたいするキャンペーンや罰則の周知を行って欲しい。
- 観光客が、「安心・安全に 歩行ができるように」車などの規制と監視。歩きながらの「喫煙」や「携帯・スマホ」などの規制と監視。「安心・安全な 健全な店舗」の営業時間と 音量などの規制。
- 訪れる身になって考えて見ること、地元の情報を正確に伝えること。受け入れるのであればトイレとゴミ箱の整備は必須。
- 行政、会議所、観光協会、市民全体への呼びかけ、意識の共有。
- ゴミのない美しい町作り。
- タバコ、ゴミのポイ捨ては 絶対に止め、清潔な街づくりをすすめてほしいです。
- 無理なイベントは不要。ただでさえ観光客が多いので、何らかの方法で市がお金を稼ぐ必要がある。市役所の駐車場ぐらいでは意味がない。これを機に、市のインフラを整備するぐらいの気概が欲しい。例えば、市内のモノレール整備や市立学校の校庭開放で駐車場経営し、校舎の整備をするなど。

【具体的なご提案】

- 夜10時ぐらいまで残っている、もしくは宿泊のため到着した外国人が頼れる場所を作ってあげたい。実際の窓口、無理ならネット上に書き込んで手助けしてあげられる工夫とかも。
- WIFI整備、キャッシュレス対応のお店を増やすことが必要だと思います。先進国の中でも、日本のキャッシュレス比率は低く（20%）、韓国は90%、中国で60%、欧州は5割以上となっていて、日本に来て、かなりフラストレーションが高いと思います。
- 外国通貨の両替やクレジットカードが使える店を増やす。
- 設備や案内の充実、マナー向上のポスター掲示。
- 江の島開催のセーリング競技は、殆どの人がルールなどよく知らないと思うので、種目をよく知ってもらうようなイベントを海などでおこない、ついでに鎌倉観光もしてもらうのもいいのではないのでしょうか。
- 市が経営する外人向け宿泊施設を作る。
- 宿泊施設の充実。
- 鎌倉市には観光しかないので、地域住民の反対から観光客を規制するような政策をとるべきではないと思いますが、プライバシーを守ることは必要なので、観光客を目的地へ迷わず誘導させる案内板や地図、アプリがあるとよいと思います。
- 同様な課題を抱えている観光地がどのような施策を行っているかの調査。
- 外国人に対応できる観光・日本の生活を紹介するガイドの増員。
- 市民によるボランティア活動推進。出来る外国語腕章をつけて街を歩いてもらう。ユニフォーム(シャツ)を支給、着用の上街を歩いてもらう。
- 観光客の増加に伴うガイドボランティアの育成に力を注いでいけたらよいのではと、思います。
- 神社仏閣等の入場料に独自の課税（入場者の少ない神社仏閣への支援金・環境整備等に使用）
- ゴミの持ち帰りや、歩道の通行マナーを守る、など基本的なことの徹底。
- 古都鎌倉、世界遺産登録を目指す町として基本となる公衆トイレの整備、設置、市内各所の整備等が必要だと思います。
- トイレと水飲み場の整備。
- 観光地、市街地での公衆トイレの整備、清掃。
- まずは海や海岸をきれいにしよう。海岸での喫煙、飲食、飲酒を禁止しよう。松尾市長は強引なので物事を独断で勝手に進めないようにしてほしい。（花火大会の再開は、広報誌では多数の意見とあったがどのぐらいの意見があったのか問い合わせしたら30数名だったので、市長の独断と思われる）
- 観光マナーの浸透を強化する。
- 観光ルートの確立による効率化を図る。

- 「道路を広がって歩かない」、「大声を出さない」、「走らない」は、住民にも言えること。まずは、住民のマナー向上からが重要。
- 夏の治安・マナーの悪さへの対策を検討しないと外国人を誘致できない。
- 現在でも外国人観光客が多いと感じていますが、今後更に増加するものと思います。そこで、外国人観光客にマナーを求める事もさることながら、それ以前に日本人がマナーを守り手本になる事が必要不可欠であると思いますので、観光客誘致策と同等にマナーを徹底する施策が必要と思います。

【その他のご意見】

- 2020年にオリンピックがあるからといって特に観光対策を市として嵩じる必要はなく、何もなくとも普段からの対策が求められる。
- 2020年に向けて、というより、今現在既に観光都市としての整備が遅れていると認識しているのですが、アンケート項目からはその認識が既に薄いように感じられ、不安を覚えます。
- 短期的には現状で良い。(予算を掛けない)市庁舎移転を早め、鎌倉駅周辺の道路整備を実施して欲しい。(一般車の駐停車施設等)
- 嘗て、鎌倉の観光行政改善について、市民モニター等で、何度も有益な意見が提案されているが、市は何一つ顧みず、新しい提案を求めているが、今一度、過去20年にわたって提案された内容を、勉強されて如何でしょうか。
- オリンピックの一時の花に奪われて金使うな、もっとするべきこと、住民の安全安心の町づくり。
- そもそもオリンピック開催中に鎌倉に外国人観光客が増えると期待している点に疑問が残る。
- 観光よりもやることあるはず。
- 2020年以降のことを検討すべき。
- 今回の質問内容のレベルが低い。
- 「2020年に向けた鎌倉市の観光」について鎌倉市が何をしたいと思って設問を用意したのかが読み取れません。某新聞社のような自説誘導型のアンケートもどうかとは思いますが、主体的な意思がいっさい感じられないアンケートの実施は行政コストの無駄づかいです。
- オリンピックに向けた準備というものは特に必要ないと思う。ただ、鎌倉市に存在している文化、史跡、寺社仏閣など、利用しやすいように外国語でも利用できる情報の発信やガイドなどを育てて行く必要はあるだろうし、体制づくりはもっと進めて行くべきだろう。歴史、文化、住んでいる人が住みやすくなるように鎌倉らしさにみがきをかけて行くことこそ今やるべき事なのではないだろうか。
- 特にありません。
- 特になし。

【観光課より】

「2020年に向けた鎌倉市の観光について」たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた、今回の調査結果を今後の運営に生かしながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての課題解決の参考とさせていただきます。

鎌倉市 共創計画部 広報広聴課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2506

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp